

第 1 1 回常任理事会会議録

- 日 時 平成19年3月9日（金）午後3時～同5時40分
- 場 所 日本歯科医師会 10階会議室
- 出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 黒崎紀正
<総務理事> 住友雅人
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、
佐藤田鶴子、土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、
赤川安正、宮崎 隆、栗原英見、荒木孝二
- 第21回日本歯科医学会総会
<準備委員長> 伊藤公一
- 欠席者 <副 会 長> 井出吉信
□第21回日本歯科医学会総会
<会 頭> 大塚・兵衛
<事務局長> 松村英雄

[議長 江藤会長]

1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

□一般会務報告（平成19年2月9日～3月8日）

□第10回常任理事会会議録（平成19年2月9日開催）

2) 第21回日本歯科医学会総会準備状況報告

伊藤準備委員長から、次の資料に基づき、準備状況報告がなされた。

□第21回日本歯科医学会総会準備状況報告（平成19年2月9日～3月8日）

3) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

□学会会計（平成18年4月1日～平成19年1月31日）

□第21回日本歯科医学会学術大会会計

（平成18年4月1日～平成19年1月31日）

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

①「歯周病の診断と治療のガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

②「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン」改定検討部会の運営等

黒崎副会長から、標記部会の進捗状況が会議録に基づき説明された。

③歯科診療報酬の評価・再評価の希望書への対応

黒崎副会長から、標記について、2月20日（火）に開催した次期診療報酬改定における歯科医療技術評価提案書に関わる説明会の報告並びに標記希望書の提出に関する今後のスケジュールが資料に基づき説明がなされた。

④歯科診療ガイドラインの作成

▶エビデンスに基づく一般歯科診療における院内感染対策

（診療ガイドライン）の認定

佐藤常任理事から、標記ガイドラインの発刊に伴う、会員への周知方については、日本歯科医学会誌、日歯広報及び日本歯科医師会雑誌等に案内を掲載する旨の報告がなされた。また、日歯大久保会長宛に都道府県歯科医師会会長に対する標記ガイドライン発刊の周知方依頼を申し

入れる説明が資料を基になされ、これを承認した。

さらに、株式会社永末書店との出版契約書の締結について、原案を基に提案され、原案どおり了承した。

- ・ 監修権者 日本歯科医学会（代表 江藤一洋）
- ・ 出版権者 株式会社永末書店（代表取締役 永末摩美）
- ・ 定価 2,400円（会員特別価格 1,800円）
- ・ 献本 30部

(2) 歯科医療技術革新の推進

① 歯科医療機器産業ビジョン作成協議会報告（第4・5回）

江藤会長から、標記について、会議録を基に報告がなされた。

② 医療ニーズの高い医療機器等に関する要望書の提出について

黒崎副会長から、標記要望書の提出について、厚労省「第2回医療ニーズの高い医療機器等の早期導入に関する検討会」において評価された疾患の重特性並びに有用性に関する優先度の結果報告がなされた。

なお、歯科の7種類は「その他」と判断され、早期導入の検討対象にはならなかった。

- ・ 要望数：38学会から104件（歯科：6学会から7件）
- ・ 検討対象：13種類を選定

(3) 学会機構改革の推進

江藤会長から、認定分科会の新設については、来週開催される日歯代議員会で関連規則の「日本歯科医学会規則の一部改正」が可決された後、4月1日に施行される運びとなる。これを受け、日本歯科医学会認定分科会登録申請に関する公示を4月1日に行う旨の報告がなされた。

また、江藤会長から、専門分科会資格審査委員会について、審査方法の透明度を上げ、最終的な審査は概括評価が望ましいとの考えを示し、さらに評価結果を公表するよう改善策を策定していきたい旨説明がなされた。

(4) 認定医・専門医制度の確立

江藤会長から、近日中に日本口腔インプラント学会並びに日本矯正歯科学会が「広告が可能な医師及び歯科医師の専門医制に関する資格名等について」の申請を厚労省に提出する予定であり、このような情勢を踏まえ、教育・研修カリキュラム等の標準化を目的に認定医・専門医制審議会を設置する考えである旨説明がなされた。

(5) 国際交流の推進

① 中華口腔医学会との会談

江藤会長から、中国・中華口腔医学会の王興会長との会談内容について、報告がなされた。

主な項目は以下のとおり。

○日中学術交流協定締結に伴う記念盾の交換

○日中歯科医学大会 2008 の開催について (2008 年 9 月開催予定)

○2007 年 Sino デンタル・フォーラムへの後援名義貸与 (日中両学会) について

○中国・農村部の歯科医師の研修 (内陸部と沿岸部の格差是正) を目的とした中国・研修センターの運営に対する協力について

② タイ (バンコク) 出張報告

▶ タイロイヤルデンタルカレッジ代表者との会談

江藤会長から、標記代表者との会談内容が報告された。また、外務省から日タイ修好 120 周年記念行事の後援要請がなされる予定であり、タイの元日本留学生の同窓会に協力を依頼し、日本語が話せる医師並びに歯科医師との国際交流を図る旨の方針が示された。

③ F D I における日歯支援体制の構築

江藤会長から、標記については、次回以降具体案を提案する旨の報告がなされた。

5) 日本歯科医学会誌 Vol. 26 の発行について

高津常任理事から、日本歯科医学会誌第 26 巻の編集・査読作業が終了し、今月末に発刊予定である旨報告がなされた。

6) 英文雑誌 (DENTISTRY IN JAPAN) の発行について

赤川常任理事から、DENTISTRY IN JAPAN Vol. 43の編集・査読作業が終了し、今月末に発刊予定である旨報告がなされた。また来年度以降はImpact Factorの取得を目指し、本雑誌を大幅に改編することが報告された。

主な改編事項は以下のとおり。

- ・ Review誌への変更
- ・ 2007年の発行は1月の1回のみ、その後は年2回の発行
- ・ MEDLINEデータベース及びISIデータベースへの収録
- ・ Editorial Boardの設置

委員は専門分科会に各1名(歯科基礎医学会は6名)依頼して推薦された24名と領域の異なる外国人数名で構成する。

7) 歯科学術用語集の出版について

相馬常任理事から、標記用語集の出版に向けた報告が、3月1日(木)に医歯薬出版社において開催された『日本歯科医学会学術用語集』第1回編集会議報告を基になされた。

さらに、江藤会長からは、標記出版に伴い、文部科学省の見解が次のとおり報告された。

- ・ 文部省から文部科学省になった時点で、学術審議会は解散し、以後、立ち上げは行われていない。また、専門調査官もいない状況である。
- ・ 現在、学術用語集の在り方に関する委員会の立ち上げを検討しているところである。

学術用語集を文部科学省編で出版する方向になれば、また歯科医学会にもお願いしたい。

- ・ 学術用語集(医学編)(2003年11月刊行)については、旧文部省時代に作業したものであり、これを文部科学省になってから出版したいきさつがある。
- ・ 日本歯科医学会の方で学術用語集の改訂作業を終えているのなら、とりあえず出版することについては、むしろ望ましいと思う。

また、土屋常任理事から、日本小児歯科学会並びに日本歯周病学会にも、医歯薬出版社から用語集出版の依頼があり、既に出版に向けた準備作業に

入っているが、同じ出版社から用語集が3冊も出されることに意味があるのか質問がなされた。

この質問に対し、住友総務理事から、医歯薬出版社並びに前学術用語委員会委員長の道先生の見解では、小児歯科と歯周病の用語集は用語の詳細な解説書であり、本学会の用語集とは構成が異なるので問題がないとの回答がなされた。

8) 会長報告（日本歯科医師会第12回理事会報告等）

江藤会長から、日歯第12回理事会報告がなされた。

9) 行政処分を受けた医師等に対する再教育の義務付け（医師法等）について
住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

10) 「広告可能な医師及び歯科医師の専門性に関する資格名等について」の一部改正について（厚生労働省医政局総務課長）

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

（広告することができる資格名の追加）

- ・（社）日本アレルギー学会：アレルギー専門医
- ・有限責任中間法人 日本核医学会：核医学専門医
- ・特定非営利活動法人 日本気管食道科学会：気管食道科専門医

11) 平成20年度採用分特別研究員の募集（日本学術振興会）について
住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

なお、この情報は専門分科会へ情報提供することとした。

12) 役員・評議員・各種委員会委員の交替について（日本顎関節学会）

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

- ・理事 覚道健治（大阪歯科大学）
- ・評議員 杉崎正志（東京慈恵会医科大学）
- ・同 諏訪文彦（大阪歯科大学）

13) 平成19年度日本歯科医学会諸会議開催の変更について

住友総務理事から、標記会議（第10回常任理事会）の変更について資料を基に報告がなされた。

- ・（変更後）平成20年2月 8日（金）午後3時開催
- ・（変更前）平成20年2月15日（金）午後2時開催

14) 第21回日本歯科医学会総会関係者の常任理事会等への出席について

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

- ・常任理事会への出席

出席者：準備委員長または事務局長のどちらか1名とする。

目的：第21回総会の準備状況の報告を行う。

- ・理事会への出席

出席者：会頭、準備委員長、事務局長の3名とする。

目的：第21回総会の諸準備に関わる協力要請と事前登録促進活動への理解等を求めるとともに同窓会準備の進捗状況を報告する。

15) 日本歯科医学会事務局職員人事

住友総務理事から、標記について資料を基に報告がなされた。

□退職（平成19年2月28日付）

係長 中 泉 由 美

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶ 歯科医療協議会の設置について

江藤会長から、標記協議会の設置について、資料に基づき諮られ、協議の結果、原案どおりのメンバーを決定した。さらに、江藤会長から、本協議会の部会の設置について諮られ、提案どおり決定した。なお、部会の委員は、先日開催された次期診療報酬改定における歯科医療技術評価提案書に関わる説明会に出席した専門分科会（社保担当者）メンバーとすることを決定した。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶ 歯科医療技術革新推進協議会の立ち上げについて

江藤会長から、標記協議会の立ち上げに関わる趣旨説明がなされ、継続審議とした。

(3) 学会機構改革の推進

▶ 認定分科会登録申請に関する公示について

住友総務理事から、標記申請に関する公示（案）について諮られ、原案どおり決定した。なお、公示期間は4月1日から4月16日までとする。

(4) 認定医・専門医制度の確立

▶ 認定医・専門医制審議会の設置の検討について

江藤会長から、標記審議会の立ち上げに関わる趣旨説明がなされ、継続審議とした。

(5) 国際交流の推進

① タイロイヤルデンタルカレッジとの学術交流協定の締結について

江藤会長から、標記について諮られ、昨年8月31日付をもって中国・中華口腔医学会と学術交流協定を締結したように、本年5月にタイ・タイロイヤルデンタルカレッジと「日タイ学術交流協定」の調印を行うことを決定した。なお、渡航に係る費用は一切発生しないことを確認した。

② 日中歯科医学大会 2008（仮称）の開催について

江藤会長から、標記大会の開催について諮られ、日歯内山専務理事と江里口常任理事（日歯常務理事）と相談の上、決定することとした。

③ FDIにおける日歯支援体制の構築について

江藤会長から、FDIへの政策提言（案）については、神原教授（大歯大）のもとで作成中であり、今後、日歯へ提案していくことを確認した。

2) 事業計画の推進

(1) 日本歯科総合研究機構、日本学術会議と国際歯科研究学会日本部会（JADR）との連携協力のあり方

住友総務理事から、標記組織との人事交流推進について諮られ、協議の

結果、関係組織に対し、双方向人事について意向打診することとした。

(2) ISO/TC106 会議への取り組みについて

住友総務理事から、標記会議を担当する人事について諮られ、人事案件を会長一任とした。

(3) 「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業」の運営委員会委員の交替について

住友総務理事から、標記委員の交替について諮られ、原案どおり決定した。

- ・ (新) 佐藤慶太 (鶴見大学歯学部講師 法医歯学)
- ・ (旧) 瀬戸暁一 (鶴見大学歯学部教授 口腔外科 I)

(4) 学際領域教育問題検討委員会の設置について

江藤会長から、標記委員会の設置について諮られ、継続審議とした。

3) その他

なし。

5. 閉 会

黒崎副会長から、閉会の辞が述べられた。